



沢地小だより

11号 令和5年2月1日



季節を感じながら



2月3日は「節分」、4日は「立春」。暦の上ではもう春です。令和4年度もあと2か月、授業日数は残り32日となりました。

今年も、1月15日（日）に沢地小粋なおやじの会の皆様のご尽力により、「どんど焼き」を実施することが出来ました。例年以上に大きなやぐらには、沢山の正月飾りや書き初め等が納められ、炎は天まで届くような勢いで燃えていました。炎が落ち着いた後は、残り火で各自が持ち寄った「団子」を焼く様子も多く見られました。また、今年度は、沢地小粋なおやじの会の皆様のご厚意により「焼き芋」も振る舞われ、参加した子供たちは大喜びでした。



おやじの会 雨の中の設営

どんど焼きのような日本らしい伝統行事を通して、子供たちは季節を感じながら生活が出来ます。今では多くの学校・地域で実施されなくなってしまった、どんど焼きのような行事を、地域の方々に支えられながら、毎年体験できる沢地小の子供たちはとても幸せだと思います。このような行事・光景を今後も沢地っ子に残していけたらいいなと思います。

沢地小粋なおやじの会の皆様には、前の週からの竹等の切り出しや、前日は冷たい雨の中やぐらの設営、当日も会の運営をしていただきました。誠にありがとうございました。また、消火と共に子供たちに放水体験をさせていただいた消防団の皆様、実施に際し、御理解・御協力いただいた地域の皆さまに、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。



大喜びの沢地っ子

インフルエンザも流行ってきました

全国的には新型コロナウイルス感染症の第8波がピークを越えて収束に向かっているという報道もありますが、静岡県では「医療ひっ迫防止対策強化宣言」を発令中であり、感染状況の国評価レベルは3（医療負荷増大期）となっています。県内・市内の小中学校においても、まだまだ油断できない状況が続いています。加えて、インフルエンザも流行してきています。県内の学校の中には、インフルエンザによる学級閉鎖となった学校もありました。

本校では、2月10日に授業参観・学級懇談会が予定されています。公開体育を除き、授業参観は今年度実施できていないため、今回は実施したいと考えています。「Withコロナ」の中で感染防止には配慮しつつ、行事等については、緊急の場合を除いて出来る限り実施する事を基本として対応していきたいと考えています。学校においては、引き続き基本的な感染防止対策を徹底して参ります。御家庭においても、御理解・御協力をお願いいたします。